

文科省が、学校施設を防災拠点として整備していく方針を固めたといいます。現在でも、その多くが避難所となっているわけですが、この震災の教訓を踏まえて、その機能を強化する具体案をまとめます。

- ・ 数日分の食料や水、毛布やストーブなどの備蓄と倉庫の確保
- ・ 耐震性貯水槽やプールの浄化装置の整備
- ・ プールからトイレに水を引くための配管や汚水貯留槽の整備
- ・ 災害時優先電話や無線通信設備の設置
- ・ 避難所運営に関する教職員と住民防災組織との役割分担を定めるなどなど。

かねて、私が提言してきたことばかりです。

当然といえば当然のものばかり。

私たちがなすべきは、震災を嘆くばかりではなく、それを教訓として同じ過ちを繰り返さないことだと、心底、思います。

提言書は、7月上旬に出されるとのことですから、しっかり、情報を集めさらに、西尾市で充実すべき点を議論していきたいと思います。